

参院選で山内徳信(トクシ)さん、 上原ひろ子さんを推薦!

全国ネットでは、7月の参議院選挙(12日告示、29日投票)に、比例代表(全国区)に立候補を予定している山内徳信(元沖縄県読谷村長)さんと上原公子(ひろこ、前国立市長)さんを推薦することを決定しました。以下決議文です。

参議院選挙(比例代表) 山内徳信・上原公子両候補を推薦することの決議

2007.6.24 無防備地域宣言運動全国ネットワーク第4回総会

今参議院選挙は、安部首相が早々と改憲を争点に掲げる中で、小泉～安部と続く戦争国家作りを許すのか否かという大きな岐路での選択を迫られる選挙になっています。

この数年の間に、武力攻撃事態法、国民保護法など有事関連法があいついで制定され、自衛隊の海外派兵とそれをささえる地域、住民の準戦時体制への統合、訓練が進められてきました。逆に、地域から自分たちの住むまちを戦争に協力しない地域、基地も軍隊も持たない地域として、平和な町づくりを推進する各地の運動も広がって来ました。ジュネーブ条約の住民保護の規定から、平和・無防備の宣言を盛り込んだ条例制定の直接請求運動は既に全国20自治体に及んでいます。これまで一貫して改憲阻止、平和構築の運動を闘って来られた、山内さん、上原さんお二人が今回の参議院選挙を期にさらに国政レベルでも闘いを拓いていかれようとされていることに、私たち無防備地域宣言運動全国ネットとしても全面的に賛同し、比例区候補として推薦するものです。

山内徳信さんは1974年の読谷村長当選以来、広大な村内米軍基地の撤去返還を推し進め、村役場や文化センターを基地敷地内に建設するなど、平和のとりでとして自治をつくって来られました。また、無防備地域宣言沖縄ネットワークの代表として沖縄の無防備運動の先頭に立ってこられました。

上原公子さんは、2期8年の国立市長時代、「景観条例」制定、住基ネット不参加など常に住民の立場に立った市政を進めて来ました。また、2001年有事3法案に対していち早く公開質問と反対意見を明らかにし、06年国立市の無防備地平和条例直接請求では全国初の賛成意見書を議会へ提出し、全国の無防備地域宣言運動に大きな励ましを与えました。

なお、お二人とも「無防備地域宣言1000人アピール」の呼びかけ人として全国の無防備地域宣言運動の拡大に大きな力を発揮しておられます。

今回、山内さん、上原さんを国会に送り出すことが、平和、自治、民主主義の発展、平和憲法の「実現」に多大な前進となることを確信します。私たち無防備地域宣言運動全国ネットワークとして自信を持って推薦し、支援することを決議します。

山内徳信(やまうち とくしん)さん略歴

1935年 沖縄県読谷村に生まれる
1945年 沖縄戦を体験
1958年 琉球大学卒業、17年間高校社会科教師
1974年 読谷村長(～6期)
1998年 太田知事のもと沖縄県出納長に
1999年 平和憲法・地方自治問題研究所開設

「基地の県内移設に反対する県民会議」共同代表
わびあいの里(故阿波根昌鴻氏創設)理事長
著書 「米軍再編と沖縄の基地」
「憲法を实践する村(沖縄読谷村町奮闘記)」
「沖縄・読谷村の挑戦」(共著)

上原公子(うえはら ひろこ)さん略歴

1949年 宮崎に産まれる
法政大学大学院中退
1989年 東京・生活者ネットワーク代表
1991年 国立市議会議員
1999年 国立市長(全国4番目の女性市長)
2007年4月 市長2期努めて退任

国立市景観権裁判原告団幹事
ウェブ『マガジン9条』設立メンバー
著書 「どうなっているの?東京の水」
「国民保護計画が発動される日」(共著)